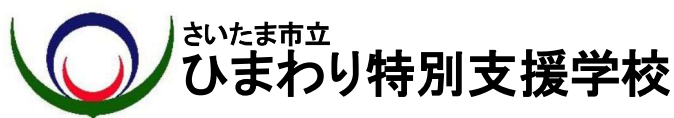


# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



本校は知的障害を併せ有する肢体不自由の児童生徒が学ぶ学校です。児童生徒が、今、生きていることの楽しさや喜びを充分に感じながら、将来への夢や希望をもち、一人ひとりがそれぞれのあり方で精一杯かがやくことのできる教育を行います。



■所在地：さいたま市西区三橋 6-1587

■電話：048-622-5631

■FAX：048-622-5642

■交通：JR 埼京線 西大宮駅南口徒歩 15 分

## 01 ICT を積極的に活用した、児童生徒一人ひとりに

### 応じた日々の教育活動



SDG s の目標 4 「質の高い教育をみんなに」にある誰もが公平に、良い教育を受けられるような学習機会を広めることに貢献したいと考えています。

#### (1) 児童生徒の実態に合わせた学習コンテンツの作成

児童生徒の実態に合わせた学習コンテンツを作成し、授業や家庭学習に効果的に活用しています。児童生徒の視覚や聴覚に訴える学習コンテンツを中心に作成し、活用することで、学習への興味関心を引き出しています。



#### (2) 授業や学校行事におけるテレビ会議システム等の積極的な活用



例えば、訪問学級のような学校と離れた場所で行う授業では、学校と家庭や児童生徒同士がリモートで関わるような質の高い授業を行うことができます。また、これまで一堂に会して行っていた様々な学校行事でも、リモートや ICT 機器を活用することにより、感染症対策を行いながら、直接会わなくても児童生徒同士の交流を図ることができています。

#### (3) 目の動きで意思を伝える視線入力装置一体型コンピュータの活用

視線入力装置一体型コンピュータは、目の動きだけでコンピュータの操作ができます。今までよりコミュニケーションの方法が増え、楽しく学習をすることができています。



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



## さいたま市立 さくら草特別支援学校



本校は、肢体不自由と知的障害を併せ有する児童生徒が在籍するさいたま市2校目の特別支援学校です。学校教育目標を「ノーマライゼーション社会において、もてる力を発揮し、共に生きる子どもを育てる—自立と社会参加を目指す児童生徒—」とし、児童生徒一人ひとりの障害の状態等に応じた指導を行っています。

まだ歴史は浅いですが、地域学校協働活動と特別支援教育への理解促進活動によって、地域に根ざした学校を目指しています。



■所在地：さいたま市緑区三室 636-80 ■電話：048-712-0395  
 ■FAX：048-874-7272 ■交通：JR北浦和駅よりバス（市立病院行き）で15分

### 01 地域と共に—協働活動—



本校では、開校以来、児童生徒が近隣地域宅に訪問し、学校だより等を届ける活動を行っています。また、地域住民や地元ボランティア団体、手話サークル、ロータリークラブ、近隣幼稚園などと連携し、ふれあいコンサートを定期的に開催しています。手づくり楽器による全員合奏、手話披露、PTA 合唱や園児の踊りなど、児童生徒とのふれあいを中心とする全員参加型として地域ぐるみの文化音楽活動を展開して、学校理解を図るとともに連携協働体制の深化に繋がっています。他にも校地内の花卉栽培、学校行事の運営支援、交流作品展など、地域や諸機関と学校との協働活動が定着しつつあります。



### 02 交流及び共同学習の推進



本校では、近隣の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、専門学校等と積極的に交流及び共同学習を行っています。学校間交流では、学部ごとに他校へ出向いたり本校に迎えたりして、一緒に授業やポッチャを楽しんで交流を深めています。居住地校交流では、本校の児童生徒が居住している地域の小・中学校の学級に入って、授業や学校行事等に参加しています。また、高等部では、福島県いわき市で開催されている地域活性化事業「オリーブプロジェクト」に協力するため、地域のボランティアの方々とともにオリーブの挿し木作業に取り組み、育てた苗木を現地に届ける活動を行っています。地域交流として、浦和レッズの選手と一緒に、学校の花壇にレッズローズを植栽する活動も行いました。



### 03 海外の子どもたちに車椅子を送る活動



本校では、子どもの成長に伴って使用しなくなった車椅子を、NPO法人「海外に子ども用車椅子を送る会」を通して、海外の車椅子を手に入れることが困難な恵まれない子どもたちに無償で届けて、国際的な支援と海外の子どもたちの福祉向上に努めています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立  
**浦和高等学校**

本校は、昭和15年に開校し、80年の歴史と伝統をもつ進学校です。「楽しい進学校」として、さまざまな教育活動を行い、高い志をもって輝き続ける生徒の育成を目指しています。

- 所在地：さいたま市浦和区元町1-28-17
- 電話：048-886-2151 ■FAX：048-883-2029
- HP：http://www.urawashi-h.ed.jp/
- 交通：JR京浜東北線北浦和駅東口徒歩12分



## 01 80年の歴史と伝統に培われた魅力ある教育



学校教育目標「高い知性と豊かな人間性・社会性を兼ね備え、国際社会に貢献する高い志を持った人材を育成」

の実現に向けて中高の教職員が一体となって教育活動に取り組み、SDGs 17全ての開発目標の実現を目指し、常に工夫改善に努め、変化に対応した教育活動を展開しています。

- 中高合同行事（文化祭・体育祭等）
- 「さいたまSTEAMS教育」研究委嘱
- 中高合同教職員研修会
- 浦和中学・高等学校コミュニティ・スクール
- 中高一貫教育



## 02 高い知性と豊かな人間性・社会性を備えた生徒の育成



最適な学習環境の提供に努め、進路希望に応えるために2年・3年と類型制をとり個々の進路にあ

った授業展開をしています。HR活動、学校行事、部活動を通して、充実した人間関係を育てています。

- 総合的な探究の時間
- レシテーションコンテスト
- MUHS グローバルセミナー
- ディベート授業

## 03 国際社会に貢献できる生徒の育成



全教育活動を通して国際理解教育を推進し、国際社会に貢献する高い志をもったグローバルな人間

を育成することを目指しています。

- シンガポール・マレーシア海外修学旅行(2学年全員)
- 米国姉妹校相互交流事業(バージニア州リッチモンド)
- 最先端イノベーションプログラム(米国西海岸)



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

## さいたま市立 浦和南高等学校

本校の生徒諸君は「南高生の誇り 10 箇条」を座右の銘として、文武自考を成し遂げるように日々意欲的に学校生活を送っています。グラウンドの人工芝や全HR教室の電子黒板機能付きプロジェクターの整備、トイレの洋式化改修、体育館のエアコン設置など教育環境のハイブリッド化を進めています。単位制高校のメリットを生かし、豊富な選択科目や少人数授業、習熟度別授業、オンライン英会話等も充実しています。



■所在地：さいたま市南区辻 6-5-31 ■電話：048-862-2568  
 ■FAX：048-838-2932 ■交通：埼京線北戸田駅徒歩 10 分 武蔵浦和駅徒歩 20 分

### 01 SDGs17 の目標を各自でまとめる南高 Action for SDGs

南高では 2 年次 3 学期～3 年次 1 学期に以下の目標のもとに Action for SDGs を実施しています。



- ①SDGs を「自分ごと」としてとらえる機会とし、また自分の興味がある分野を詳しく学ぶ
- ②自分の考え・意見を論理的に発表する
- ③進路意識を高める

このような活動を通じて大学などで何を学ぶかという研究課題を発見しています。

### 02 国際交流 南高 2020 グローバル人材育成プログラム

南高では 2 年次のオーストラリア研修旅行、ニュージーランド・エレスメアカレッジとの姉妹校交流などの多くの国際交流事業を通じて多文化共生社会を実感する機会を多く持っています。



今年度はコロナ禍で実際には海外にいけませんでしたでしたが代替プログラムを通じて SDGs に貢献したいと考えています。

### 03 社会科学、自然科学など様々な課題を探究する社会探検工房

南高では企業や大学を訪問して探究する活動を通じて SDGs に貢献しています。大学とコラボする「海の生物学」では特に海洋生物と環境の問題、企業訪問を通じての産業の在り方など多くのテーマを探究しています。



このように南高は魅力的な様々な活動を通じて SDGs に貢献しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



## さいたま市立 大宮北高等学校

校訓 「自主・自律・創造」

### 目指す学校像

SSH指定校として、「自主・自律・創造」の校訓のもと、自ら育んだ高い「志」を実現し、次代を担い国際社会をリードする人材を育成する。



■所在地：さいたま市北区奈良町 91-1 ■電話：048-663-2912  
■FAX：048-653-7922 ■交通：JR 宮原駅西口徒歩 15 分

## 01 「数理探究」、FWで課題を探究、SDGs への興味関心を向上



本校はSSH指定校として課題研究に取り組む「数理探究」を全校で実施します。個々に設定するテーマには、リサイクルや環境に関する問題も多数あります。

テーマに沿って調べ、その原因を探るとともに、仮説を立て、立証する実験や観察をまとめていきます。ポスターやスライドにまとめたお互いの発表を聞く中で、お互いの研究にも関心を深めます。

多くのフィールドワークも実施されており、「福島復興探究学」では東日本大震災、福島原発の事故の影響を受けた福島県の復興をテーマに学びます。



## 02 部活動・行事の充実、幅広く健康、福祉、平等を学ぶ



部活動では生徒が主体となって活動します。仲間とともに心と体を鍛え、高めあう中、健康や集団行動を学び、福祉や平等を実感します。生徒会活動においても、各委員会が活発に活動し、行事の運営等に臨んでいます。人権平和教育講演会では男女平等問題も含み、毎年テーマを変えながら事前事後指導を充実させて取り組んでいます。

## 03 充実した ICT 環境のもとで学び、未来を考える



本校は入学時から全校生徒がタブレットを所有し、日々の学校生活を過ごしています。プリント類の配布は最小限に抑えられ、教育活動が機能的に展開されていきます。

めざましい科学の進歩の中、人と人とのコミュニケーションの在り方にも触れ、これからの生活の在り方、誰もが健康で幸せな生活を送るための未来を考えます。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立大宮国際中等教育学校

Saitama Municipal Omiya International Secondary School



- 1 国際バカロレア (IB) を核とした探究活動と親和性の高い ICT を組み合わせた実践的な研究活動の推進
- 2 海外研修にて異文化体験し、海外の同世代と未知の諸課題への解決を図ることによるグローバルな貢献活動
- 3 大学や企業等と連携した、実社会で役立つ経験を積み重ねた教育活動の展開



■所在地：さいたま市大宮区三橋 4-96 ■電話：048-622-8200 ■FAX：048-622-6700  
 ■交通：JR 大宮駅から西武バスで大宮国際中等教育学校バス停下車徒歩 5 分

## 01 IB と ICT のコラボレーション

### 探究活動と ICT を組み合わせた研究活動の推進



本校は、総合的な学習の時間「3 G Project」において、2年生の生徒全員が半年間をかけ、SDGs の 1



ICT を活用した探究活動

7 の目標から各自が 1 つを選んで探究し、全員がプレゼンテーションソフトを使って発表しました。自分がどのような貢献ができるか、どのように行動していくのかについて考え、自作のポスターを掲示して注意喚起を呼び掛けたり、動画を作成して YouTube にアップして社会貢献を促したりするなど、生徒自身が行動する学習者を育てています。こうした取組を通じて、SDGs を意識した授業実践に取り組んでいます。

## 02 グローバルな視点での課題解決

### 世界中の同世代と未知の諸課題への解決を図るための活動



本校は、生徒全員が 3 年生でニュージーランドを舞台にフィールドワークを行います。現地の連携校のいくつかは SDGs に



ニュージーランドの現地の様子

ついて探究活動を行っており、事前学習や現地訪問で、現地の川の水について同世代の人たちと一緒に「人は川や海にどのような影響を与えているのか」などについて、協働で探究活動を行うよう計画しています。SDGs の目標 14「海の豊かさを守ろう」に寄与していきたいと考えています。

## 03 実社会で役立つ経験の積み重ね

### 大学や企業等と連携した教育活動



本校は、芝浦工業大学と連携し、SDGs の視点でさいたま市の諸課題について意見交換をしています。実践的な活動の 1 つとして、大学生と一緒に学校の近くへ



学校近隣のフィールドワーク

フィールドワークに出掛け、地域防災マップを作成するなど、学校の近隣の人たちに役立つための貢献活動を行いました。SDGs の目標 11「住み続けられるまちづくりを」に寄与していきたいと考えています。